

世界遺産
登録記念
企画展

明治日本の 産業革命遺産と萩

平成27年(2015)、萩市の資産を含む「明治日本の産業革命遺産-製鉄・製鋼、造船、石炭産業-」が世界文化遺産に登録されました。本遺産は、日本がわずか50年ほどの短期間で、急速に近代化・工業化を実現していった過程を視覚的に物語るものです。

本遺産は、北は岩手県釜石市から南は鹿児島県鹿児島市までの広域に分散する、全23資産で構成されています。それらの資産は、19世紀半ばから20世紀初頭に至る重工業の発達の過程を物語るものであり、世界的にも顕著な普遍的価値をもっています。

萩の5つの資産は、1850年代、萩(長州)藩が自力で工業化に取り組み始めたことを示す具体的な証拠です。萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡は、自力での工業化を試行錯誤した物証です。また、萩城下町は工業化を推進した政治・経済・文化の拠点として、松下村塾は工学教育の必要を説いた先駆的存在として、重要な意味をもっています。

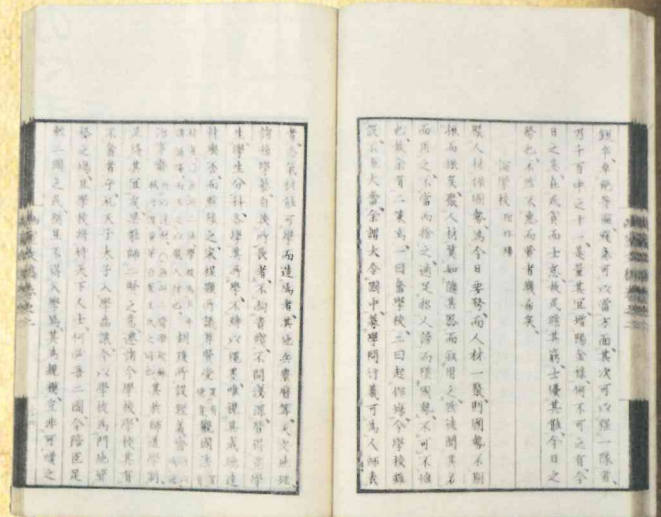
この企画展では、「明治日本の産業革命遺産」における萩の5資産の位置づけを紹介し、幕末の萩(長州)藩が取り組んだ工業化の試行錯誤の段階から明治政府による工業化の実現へと至る一連の軌跡を明らかにします。



歴代工部卿を務めた
上から伊藤博文・井上馨・
山尾庸三(萩博物館蔵)



明治初期に工学を教育した
工部大学の古写真
(萩博物館蔵)



吉田松陰が工学教育の必要を説いた画期的論文
(萩博物館蔵)



江戸時代後期に
作られた地球儀
(萩博物館保管)

特別講座「明治日本の産業革命遺産」の過去・現在・未来

講師：有馬学先生(福岡市博物館長)

日時：10月3日(土) 午後1時30分～3時 場所：萩博物館講座室 参加料：無料

ギャラリートーク

日時：9月19日(土)、10月17日(土)、11月21日(土) いずれも午後2時～3時
参加料：無料(ただし観覧料は必要)

●担当学芸員が解説します。開始時間の5分前に企画展示室入口にお集まりください。

開館時間／午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日／なし(年中無休、年末年始も開館)

駐車場／有料

普通自動車(軽自動車を含む)93台(1回310円)

大型自動車(マイクロバスを含む)8台(1回1,030円)

※ただし萩市民は無料

観覧料／大人510円、高校・大学生310円、

小・中学生100円

[団体割引]20名以上20% [障がい者割引]20%

<交通アクセス>

◎JR新山口駅からバス約70分、直通バス約60分

(萩バスセンター下車、徒歩20分)

◎萩・石見空港から乗合タクシー約75分

(予約制 前日までに申込が必要)

◎山口宇部空港から乗合タクシー約75分

(予約制 前日までに申込が必要)

◎JR東萩駅からタクシー10分／徒歩30分

◎萩バスセンターからまあるバス 西回り6分

「萩博物館前」下車すぐ

◎中国自動車道美祿東JCT→小郡萩道路(無料)

絵堂ICから約25分



萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地

TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142

URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>

E-mail muse@city.hagi.lg.jp



ふみ はぎ
文と萩物語 花燃ゆ大河ドラマ館

とき／開館中～2016年1月10日(日) 9:00～17:00

ところ／旧明倫小学校体育館